

# 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成26年度 年度計画

## 目次

### 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 1 医療サービス

- (1) 良質な医療の実践
- (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進
- (3) 災害時等の対応

#### 2 患者サービス

- (1) 患者サービスの向上
- (2) ボランティアとの共働

#### 3 医療の質の向上

- (1) 病院スタッフの確保と教育・研修
- (2) 信頼される医療の実践
- (3) 法令遵守と情報公開

### 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

#### 2 事務部門等の専門性の向上

#### 3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入

### 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 1 経営基盤の強化

- (1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立
- (2) 投資財源の確保

#### 2 収支改善

- (1) 増収
- (2) 費用削減
- (3) 収支改善

### 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

#### 1 新病院の整備及び運営に関する取組

#### 2 福岡市民病院における経営改善の推進

### 第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

#### 1 予算（平成26年度）

#### 2 収支計画（平成26年度）

3 資金計画（平成26年度）

第6 短期借入金の限度額

- 1 限度額
- 2 想定される短期借入金の発生事由

第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

第8 剰余金の使途

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

- 1 施設及び設備に関する計画（平成26年度）
- 2 人事に関する計画

## 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 医療サービス

#### (1) 良質な医療の実践

こども病院・感染症センター及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。

##### ア こども病院・感染症センター

- 小児高度専門医療のさらなる充実に向けて、各診療科がより密接な連携に基づいて医療が実践できるよう、循環器センター(循環器科, 心臓血管外科), 周産期センター(産科, 新生児科)を4月より発足させるほか、従来の「整形外科」を「整形・脊椎外科」として再編し、脊柱側彎症手術等の受入れ強化に取り組む。
- 11月に予定している新病院への移転に係る準備に際しては、患者の安全を最優先としつつ、診療調整については、こども病院の社会的使命を損なうことのないよう、必要最小限に留めるため、効率的な移転作業に努めるとともに、円滑な移行に向け、新病院準備委員会等での検討を進める。
- 新病院での医療機能の強化に向け、計画的な医療従事者の確保に努める。
- 第一種・第二種感染症指定医療機関として、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たす。

##### イ 新病院

- 周産期医療体制を拡充整備し、NICU, GCU, 産科の病床数を増床するとともに、周産期センターとして一体的に運営する。
- 手術室の増設及びHCUを新設するほか、手術部門・集中治療部門が一体となった術後管理、重症患者の診療体制を整備する。
- 新たに脳神経外科, 皮膚科, 小児歯科を段階的に開設する。

#### 【目標値】

指標	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値
1人1日当たり入院単価(円)	100,689	102,800
1人1日当たり外来単価(円)	13,350	11,860
1日当たり入院患者数(人) (病床利用率(%))	141.6 (74.5)	127.0 (61.1)
新規入院患者数(人)	4,599	4,368
平均在院日数(日)	10.2	10.6
1日当たり外来患者数(人)	269.6	247.0
手術件数(件)	2,155	1,831
救急搬送件数(件)	630	606

※平成24年度実績値は、こども病院・感染症センターの実績値を、平成26年度目標値は、現病院と新病院の合算値を計上。以下同じ。

## ウ 福岡市民病院

- 医療法で定められた医療計画における4疾病（がん，脳卒中，急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに，救急部門の体制強化を図る。
- 女性医師による週3回の乳腺外科専門外来を開始し，乳腺疾患患者に対して必要な医療を提供する。
- 新たに呼吸器外科専門医による週2回の血痰・肺癌外来を開き，肺癌の早期発見，早期治療に努める。
- 福岡県からの依頼に基づく第二種感染症病床（4床）の受入及び救急部門の機能拡充のための別館工事の早期完了に努める。
- 別館工事により救急処置室の拡充を行い，救急患者の受入に伴う外傷患者の増加に対応するため，3.0テスラのMRIを導入し，頭部領域，骨軟部領域の検査の充実を図り，併せて外傷センターの開設を検討する。

### 【目標値】

指標	平成24年度 実績値	平成26年度 目標値
1人1日当たり入院単価（円）	59,485	62,000
1人1日当たり外来単価（円）	15,746	16,000
1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（%））	184.5 (92.3)	184.0 (92.0)
新規入院患者数（人）	4,527	4,600
平均在院日数（日）	12.1	12.0
1日当たり外来患者数（人）	248.9	248.0
手術件数（件）	2,742	2,700
救急搬送件数（件）	2,429	2,500

## (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進

### ア こども病院・感染症センター

- 小児医療の基幹病院及び地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院として病病・病診連携を推進するとともに，症状の安定した患者については，積極的に地域の医療機関に逆紹介する。
- 移転後の近隣地域施設との新たな信頼関係を築くため，開放型病床への登録医の増加を図るとともに，地域の医療機関への広報等の充実，オープンカンファレンスの利用促進に取り組むなど，更なる連携強化を図る。
- 周産期センターの病床を増床するとともに，産科医師を増員するなど充実を図り，県内における周産期医療のネットワークの一翼を担う。
- 4月から地域医療連携室に，医療的ケアに関する家族支援や退院支援などの経験を有する看護職員を増員し，地域における小児在宅医療の推進を支援するための取り組みを進める。

## イ 福岡市民病院

- 地域医療連携の強化を図るとともに、診療情報誌・季刊誌・各科診療案内・ホームページ等の媒体を使い、地域医療機関へ自院の診療機能の明確な発信を行うことや、積極的に近隣の医療機関への訪問等を実施し、病病・病診連携に努め、紹介率、逆紹介率の向上を図る。
- 地域医療支援病院が果たす役割として、「かかりつけ医」等を支援し、地域医療を確保するため、紹介患者に対する最適な医療の提供や医療機器等の共同利用を促進するとともに、地域の医療従事者に対する研修を継続して行う。
- 多職種協働によるチーム医療をより一層推進し、医療の質の向上を図ることにより、他院からの紹介患者の増加を図る。

### 【目標値】

指標		こども病院（新病院）	
		平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
紹介率	(%)	86.3	88.8
逆紹介率	(%)	25.8	27.5
オープンカンファレンス	回数 (回)	44	32
	参加者数 (人)	1,149	1,063
開放型病床への登録医数 (人)		136	150

※この表において、平成26年度目標値のうち、紹介率、逆紹介率は新病院の数値

指標		福岡市民病院	
		平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
紹介率	(%)	82.9	81.0
逆紹介率	(%)	81.2	88.0
オープンカンファレンス	回数 (回)	33	30
	参加者数 (人)	1,057	1,000
開放型病床への登録医数 (人)		138	149

### (3) 災害時等の対応

- 市立病院としての役割を果たすため、福岡市地域防災計画等に基づく適切な対応が行えるよう体制を整えるとともに、院内防災マニュアルの周知や防災訓練の実施を通じ、職員の防災意識を高めるほか、非常用発電設備及び備蓄物品等の点検を徹底し、災害発生時の万全な対応に備える。
- 新病院においては、様々な災害に対し、免震構造の完備、電力・通信インフラの2ルート化、津波・高潮対策として非常用発電機の上層階への設置等、事前予防策、事後対策に万全の対応を図る。  
また、新病院に対応した院内防災マニュアルの整備や防災訓練の準備等を実施し、新病院での体制を整える。
- 他の自治体において大規模災害が発生した場合は、医療スタッフの派遣な

ど医療救護活動の支援に努めるとともに、新病院においては、移転後も引き続き医療救護活動の支援ができるよう、速やかに体制を整える。

また、福岡市民病院においては、九州各県の主要な医療機関との間で九州自治体病院災害相互応援協定を平成25年4月に締結していることから、災害発生時における医療班の派遣や薬剤の提供等による相互支援体制を構築し、これらに迅速に対応できるよう院内に災害時派遣医療班を組織する。

## 2 患者サービス

### (1) 患者サービスの向上

#### ア こども病院・感染症センター

- 患者のニーズを的確に把握するため、今後も患者満足度調査や患者待ち時間調査を実施するとともに、院内の専門委員会において、その調査結果に基づく対応策の検討を行い、より一層の患者サービスの向上を図る。

また、新病院においても、療養環境の変化や設備・アクセス等の意見をより反映できる患者満足度調査を行い、いち早く患者ニーズの把握に努め、患者サービス向上を図る。

- 地域医療連携室における医療・福祉相談を充実させ、保健福祉行政機関とも連携しながら、各事案に適切に対応する。
- 現病院における院内環境の整備については、新病院への移転も踏まえつつ、きめ細やかな対応に努める。

また、新病院においては、駐車場拡充・売店等の充実・院内学級や学習室等の整備及び自動精算機・再来受付機の設置等によって利便性の向上を図るとともに、個室環境の整備や患児家族滞在施設の拡充など、療養環境の充実を図る。

#### イ 福岡市民病院

- 入院患者へのサービス向上として、診療結果や職員の接遇及び療養環境等に関する患者満足度調査を実施し、その結果を踏まえながら、より一層のサービス向上を図る。

また、入院ベッドの老朽化に対処するため、計画的に更新するなど療養環境の整備に努める。

- 外来患者へのサービス向上を目的とした「外来機能改善プロジェクト」の検証結果を踏まえ、総合受付の再編や総合案内、自動再来受付機を導入することにより、スムーズな患者導線を実現し、患者の利便性の向上や、待ち時間の短縮を図ることで、患者サービスの向上を図る。
- 別館工事により、救急処置室の拡充を図り、広く救急患者の受け入れに対応することで、患者サービスの向上を図る。

【目標値】

指標	こども病院（新病院）	
	平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
退院時アンケートの平均評価点数 (100 点満点)	88.0	88.0

※対象者・・・入院患者

※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容等

指標	福岡市民病院	
	平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
患者満足度調査における平均評価点数 (100 点満点)	70.2	80.0

※対象者・・・入院患者

※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容，診療内容等

(2) ボランティアとの共働

ア こども病院・感染症センター

- ボランティアとの共働による，構内環境の整備，院内コンサート，病棟・外来ボランティアの実施等拡大に，引き続き努める。

また，新病院では，ボランティアルームを設置し，ボランティアの活動支援・連携強化に向けた体制整備を図る。

イ 福岡市民病院

- 大学サークル・市民団体等に積極的に出演交渉し，院内コンサートの回数を増やすとともに，患者対応の院内ボランティア（現在 2 名）を幅広く募集し，登録者の拡大を図る。

3 医療の質の向上

(1) 病院スタッフの確保と教育・研修

ア こども病院・感染症センター

- 医師が診療に専念しやすいよう，医師にかかる事務処理の負担軽減策を強化するとともに，看護師については，病棟における 2 交代制勤務の試行の拡充を図るなど，職員が働きやすい環境づくりを推進し，優れた人材の確保に努める。

また，新病院においては，院内保育所の設置や近隣における職員宿舎の確保等，福利厚生面においても職員のワークライフバランスを踏まえた対応を図る。

- 院内研修については，外部講師の活用等による内容の充実を図るとともに，多くの職員が受講できるよう，実施回数の拡大に努める。

- スタッフの専門性や医療技術の向上を図るため，積極的に職員の資格取得を奨励する。また，認定看護師等資格取得支援制度を活用し，有資格者の拡

大を図る。

## イ 福岡市民病院

- 診療報酬の改定に伴い、休日・深夜の対応等の改善を図ることで医師の負担を軽減するほか、ワークライフバランスを推進するために病院全体としては業務手順の見直し等により業務の効率化を図り、時間外勤務の縮減に努めるなど、職員が働きやすい職場環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。
- 臨床検査技師による外来採血、薬剤師による注射液の混注及び退院時服薬指導をより一層推進するとともに、看護補助者、病棟事務担当者を配置することで、看護師の業務負担軽減を図る。
- 平成27年1月の病院機能評価3rd G:ver1.0受審に向け、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを改めて見直し、その実現のために教育・研修体制を強化する。

## (2) 信頼される医療の実践

### ア こども病院・感染症センター

- 感染対策室、院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携により、院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。
- クリニカルパスの充実により、ケアの標準化、均質化を図り、医療の質の向上に努めるとともに、その活用による治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。
- 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。

## イ 福岡市民病院

- 最新の医学的根拠を基に院内感染防止対策マニュアルの改訂を適宜行い、院内感染防止対策の徹底を行うとともに、感染防止対策の実施施設認定医療機関との連携強化を図り、情報の共有化を行う。
- 患者が治療内容をより理解できるようインフォームド・コンセントの様式を全面的に見直すとともに、クリニカルパスを活用した事前説明を十分行うなどにより、患者中心の医療を実践する。
- 医師事務作業補助者の配置を維持し、医師の負担軽減を図る。
- 薬剤師による服薬指導や薬歴管理体制を強化し、副作用の重篤化を回避または未然防止を図るなど患者の安全管理体制を徹底する。
- 栄養サポートチーム（NST）の実施体制を拡大することで栄養指導、薬剤管理指導、摂食機能療法を更に充実させ、安心、安全な医療を提供する。

【目標値】

指標	こども病院（新病院）	
	平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
薬剤管理指導件数（件）	3,351	3,117
栄養食事指導・相談件数（件）	305	250

指標	福岡市民病院	
	平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
薬剤管理指導件数（件）	9,384	8,700
栄養食事指導・相談件数（件）	1,065	1,070

（3）法令遵守と情報公開

- 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底するとともに、監事（弁護士、公認会計士）による業務監査及び会計監査の実施に加え、外部の監査法人と連携して業務管理や会計処理等に関する監査を実施する等、内部統制を確実に実施するほか、病院として医療法、施設基準等を遵守するなど適正な病院運営を行う。
- 個人情報保護及び情報資産に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底するほか、カルテ等の情報公開に関しては、診療録開示委員会を開催して開示の可否を決定する。
- 法人の経営状況、各病院の役割や医療内容のほか、地域の医療機関との連携等について、ホームページや広報誌等を通じ、積極的な情報発信に取り組み、市民に開かれた病院づくりを進める。  
特に、新病院の開院に向けては、新病院における医療機能等を分かりやすく説明する病院案内パンフレットの発刊を行うとともに、ホームページのリニューアル等を通じて情報発信に努める。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

- 理事会を適正に運営し、外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。
- 医療情勢の変化や患者のニーズに効果的な対応ができるよう、病院長のリーダーシップの下、各病院の実態に即した機動性の高い病院経営を行う。

### 2 事務部門等の専門性の向上

- 病院経営に関する知識・経験を有する人材をプロパー職員として計画的に採用し、事務部門及び経営管理部門の専門性の向上を図る。
- 病院経営に関する研修やOJT（On the Job Training）の充実を図るとともに、両病院、本部事務局間の人事異動を適宜行うことで、事務部門、経営管理部門を活性化し、経営感覚に優れた職員の育成に努める。

### 3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入

- 職員のニーズに対応した福利厚生の実施や職場環境の改善に努めるとともに、平成26年2月に策定した人材育成プランに基づき、事務職に主任制度を導入する等、職員の意欲を引き出す人事制度を構築する。
- 病院の業績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合した給与制度を維持し、人件費の適正化を図る。
- 平成23年度から試行中の医師を対象とした人事評価制度については、平成26年度から本格導入する。

### 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 1 経営基盤の強化

##### (1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立

- 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤を確立するため、不採算医療部門については、収支差の圧縮に向け、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、増収及び費用削減に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、部門ごとの経営状況の分析や他病院との比較分析を行うなど、効率的な病院経営を行う。

また、部門ごとに具体的な目標を設定し、その達成状況を適宜確認するなど経営管理を徹底する。

##### (2) 投資財源の確保

- 独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の施設整備や高額医療機器の更新等に関する計画を踏まえた自己財源の確保に努める。

#### 2 収支改善

##### (1) 増収

###### ア こども病院・感染症センター

- 現病院においては、新病院への移転に伴い、患者の安全を最優先とするため段階的に診療調整等を行わざるを得ないが、新病院開院前後において、職員の習熟度向上等を目的とした研修等を計画的に実施し、できるだけ早く病床利用率の回復に努める。
- 診療報酬改定にあたり、迅速に対応するとともに、適切な施設基準の取得を行う。
- 治験業務について、製造販売後調査に加え、検証的臨床試験（実際の治療に近い形での効果と安全性の確認）を継続して実施し、積極的に治験収入の増加に努める。
- レセプトチェックシステムを最大限に活用し、査定減の内容分析や対策を行うとともに、医師との情報共有及び連携強化によって診療報酬請求の精度向上を図る。

また、医療ソーシャルワーカーによる患者相談の充実、督促業務に精通した事務職員の配置等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、電話、文書による督促や個別相談及び少額訴訟の活用等により、未収金の確実な回収を図る。

###### イ 福岡市民病院

- 別館工事完成後は、人員の適正配置や救急の受け入れ体制の整備等、別館の機能の効率的運用を行い、救急医療体制の充実を図ることで救急患者（重症患者）の増加、手術件数の増加を図る。

- 手術室の効率的な運用等の体制整備により、難易度や専門性の高い手術件数の増加を図る。
- 理学療法士，作業療法士の増員による脳血管リハビリテーションの上位基準を取得し（脳血管リハビリⅡ→脳血管リハビリⅠ），リハビリ提供体制の更なる充実を図る。
- 紹介率向上のため，地域医療連携の強化・充実を図り，新規入院患者数の増加を目指す。
- 地域医療支援病院として，開放型病床の更なる利用促進を図るとともに，回復期リハビリテーション病院との連携パスを利用した切れ目のない地域医療連携の推進により，効率的な病床管理や高度医療機器の稼働率の向上を図る。
- クリニカルパス数を増やすことで，早期退院を実現し，平均在院日数の短縮につなげることで，診療単価の上昇を図る。
- 未収金に対しては，電話，文書による督促や個別相談及び少額訴訟の実施等により確実な回収を図るとともに，回収困難案件に関しては，弁護士事務所等への業務委託を開始する。

【目標値】《再掲》

指標	こども病院（新病院）	
	平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
1 人 1 日 当 たり 入 院 単 価（円）	100,689	102,800
1 人 1 日 当 たり 外 来 単 価（円）	13,350	11,860
1 日 当 たり 入 院 患 者 数（人） （病床利用率（%））	141.6 (74.5)	127.0 (61.1)
新規入院患者数（人）	4,599	4,368
平均在院日数（日）	10.2	10.6
1 日 当 たり 外 来 患 者 数（人）	269.6	247.0
手術件数（件）	2,155	1,831
救急搬送件数（件）	630	606

指標	福岡市民病院	
	平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
1 人 1 日 当 たり 入 院 単 価（円）	59,485	62,000
1 人 1 日 当 たり 外 来 単 価（円）	15,746	16,000
1 日 当 たり 入 院 患 者 数（人） （病床利用率（%））	184.5 (92.3)	184.0 (92.0)
新規入院患者数（人）	4,527	4,600
平均在院日数（日）	12.1	12.0
1 日 当 たり 外 来 患 者 数（人）	248.9	248.0
手術件数（件）	2,742	2,700
救急搬送件数（件）	2,429	2,500

## (2) 費用削減

- コストパフォーマンスを考慮した診療材料の選定や診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底，契約手法や委託業務の見直し及びジェネリック医薬品の使用拡大等に取り組み，費用の削減を図る。
- 施設・設備のアセットマネジメントを推進するとともに，省エネ対策への更なる取組により，維持修理に係る費用の削減を図る。
- 新病院関連では，LED照明や太陽光発電を活用して省エネ対策を推進するほか，必要な医療機器や医療情報システムの調達にあたっては，機種を選定や契約方法等を工夫するとともに，価格交渉を徹底し，購入費用の削減を図る。
- 新病院開院に伴い，本部事務局及び病院事務局が新病院内に移転することから業務分担の効率化を図るため，組織体制を再編し，人件費の削減を図る。  
また，新病院運営に係る事務処理を効果的に遂行するため，知識・経験を持った職員を適切に配置する。

### 【目標値】

(単位：%)

指標	こども病院（新病院）	
	平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
給与費対医業収益比率	56.0	71.9
材料費対医業収益比率	18.2	21.9
うち薬品費対医業収益比率	6.6	6.6
うち診療材料費対医業収益比率	11.3	12.3
委託費対医業収益比率	7.3	14.9
ジェネリック医薬品導入率	6.8	7.0

指標	福岡市民病院	
	平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
給与費対医業収益比率	56.2	57.1
材料費対医業収益比率	23.8	24.1
うち薬品費対医業収益比率	9.1	8.6
うち診療材料費対医業収益比率	14.6	15.3
委託費対医業収益比率	7.4	7.2
ジェネリック医薬品導入率	25.1	27.5

## (3) 収支改善

- 新病院の開院により，平成 26 年度は医業収益が一時的に減少し，収支が悪化することが予想されるため，法人全体として，継続的に増収対策及び費用削減の取組を徹底し，中期目標の達成に努める。  
特に新病院においては，早期に収益の回復を図り純損失の抑制に努める。

## 【目標値】

(単位：%)

指標	こども病院（新病院）	
	平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
総収支比率	110.8	86.3
経常収支比率	112.2	86.6
医業収支比率	93.9	69.6

指標	福岡市民病院	
	平成 24 年度 実績値	平成 26 年度 目標値
総収支比率	114.0	104.8
経常収支比率	114.5	105.6
医業収支比率	100.1	95.6

## 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

### 1 新病院の整備及び運営に関する取組

- 新病院の整備については、11月の開院を目指し、建物完成までの施工確認を適切に行うとともに、施設の維持管理業務計画の策定に向け株式会社FCHパートナーズとの協議・検討を進める。
- 市民に親しまれる病院づくりを推進するため、市民や医療関係者等に対し、新病院の概要や医療機能の拡充内容などを、ホームページや病院案内、広報誌を利用し、積極的に情報発信する。
- 開院後の稼働状況に合わせ必要な医療従事者を確保する。
- 小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、新病院が求められる役割を果たすために必要な病床の確保などの適切な対応に努める。
- 「ふくおかハウス」については、建設のための募金活動を積極的に行い、病院と同時期の開所を目指し整備を進める。開所後は、「公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」の運営に協力し、患者家族が安心して滞在できる環境の整備に努める。

### 2 福岡市民病院における経営改善の推進

- 市立病院として求められる役割を果たすため、新型インフルエンザ等に対応するための第二種感染症病床（4床）の設置や救急部門の機能拡充のための別館工事の早期完了に努め、引き続き高度専門医療、高度救急医療を提供する。
- 引き続き経営の効率化を図り、医業収支の更なる改善に努める。

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算（平成26年度）

（単位：百万円）

区 分		金 額
収入		
営業収益		12,984
医業収益		10,718
運営費負担金収益		2,233
補助金収益		31
寄附金収益		2
営業外収益		328
運営費負担金収益		243
その他営業外収益		85
資本収入		13,543
長期借入金		13,129
寄附金		400
補助金収入		14
その他の収入		0
計		<b>26,856</b>
支出		
営業費用		12,834
医業費用		12,280
給与費		7,082
材料費		2,653
経費		2,438
資産減耗費		1
研究研修費		105
一般管理費		554
給与費		184
経費		370
営業外費用		340
資本支出		14,363
建設改良費		13,424
給与費		18
経費		13,406
償還金		939
その他の支出		47
計		<b>27,584</b>

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

（注2）期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

〔人件費の見積り〕

期間中総額7,284百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

〔運営費負担金の繰出基準等〕

高度・小児医療等の不採算経費及び救急医療の確保に要する経費等については、毎年度総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方により算出する。建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、経常費助成のための運営費負担金とする。

## 2 収支計画（平成26年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収益の部	<b>13,313</b>
営業収益	12,984
医業収益	10,718
運営費負担金収益	2,233
補助金収益	31
寄附金収益	2
営業外収益	328
運営費負担金収益	243
その他営業外収益	85
臨時利益	0
費用の部	<b>14,189</b>
営業費用	13,778
医業費用	13,222
給与費	6,931
材料費	2,653
経費	2,446
減価償却費	1,085
資産減耗費	1
研究研修費	105
一般管理費	557
営業外費用	340
臨時損失	71
純損失	<b>876</b>
目的積立金取崩額	0
総損失	876

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

### 3 資金計画（平成26年度）

（単位：百万円）

区 分		金 額	
資金収入		<b>29,500</b>	
資金収入	業務活動による収入	13,313	
	診療業務による収入	10,718	
	運営費負担金による収入	2,476	
	その他の業務活動による収入	119	
	投資活動による収入	414	
	運営費負担金による収入	0	
	その他の投資活動による収入	414	
	財務活動による収入	13,129	
	長期借入れによる収入	13,129	
	その他の財務活動による収入	0	
前年度からの繰越金		2,645	
資金支出		<b>29,500</b>	
資金支出	業務活動による支出	13,238	
	給与費支出	7,284	
	材料費支出	2,653	
	その他の業務活動による支出	3,301	
	投資活動による支出	13,406	
	有形固定資産の取得による支出	13,406	
	その他の投資活動による支出	0	
	財務活動による支出	939	
	長期借入金の返済による支出	393	
	移行前地方債償還債務の償還による支出	546	
	その他の財務活動による支出	0	
	翌事業年度への繰越金		1,917

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

## 第6 短期借入金の限度額

### 1 限度額

2, 000百万円

### 2 想定される短期借入金の発生事由

ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応

イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応

## 第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

なし

## 第8 剰余金の使途

決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。

## 第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

### 1 施設及び設備に関する計画（平成26年度）

（単位：百万円）

施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設，医療機器等整備	14,390	福岡市長期借入金等

### 2 人事に関する計画

職員の意欲を引き出す人事制度の構築や教育・研修体制の充実等に取り組む。

また，職員の能力や適性等に応じた適材適所の人事配置や有期職員の活用等により，効果的・効率的な組織運営を推進する。